

桜井高校生が林業体験

令和3年10月28日(木)、高校生を対象にした林業体験実習が魚津市黒谷の山林で開かれました。林業の担い手対策の一環として、令和元年度から県農林水産公社が県内の土木関連のコースがある高校等を対象に開催しているもので、新川農林振興センター管内では初めての実施となりました。今回は桜井高校土木科の1年生22人がチェーンソーによる丸太切り等を体験しました。

はじめに、新川農林振興センターの担当者から森林の役割や富山県の森林・林業の現状、森林施業についての説明があった後、新川森林組合による間伐作業の実演を見学しました。チェーンソーでの伐採や高性能林業機械(ハーベスタ)での伐採・造材作業は迫力があり、大きな音を立てて木が倒れた際には生徒たちから拍手と歓声が起こっていました。また、新川森林組合の指導のもと、生徒全員がチェーンソーで丸太を輪切りにする体験も行いました。

生徒たちは、質疑の時間になると、必要な資格や1日の就業時間、仕事のやりがいなどについて活発に質問をし、積極的に林業現場の声を聴いていました。

「木に囲まれた場所で、貴重な体験ができた。」「少し林業に興味が湧いた。」といった感想を答える生徒もおり、林業に関わる仕事に就こうとする生徒が現れることを願っています。



チェーンソーによる立木伐採を見学



チェーンソーで丸太切り体験



集材作業を見学